

今週のお祈り

聖霊降臨後第12主日(特定15) 特禱

主よ、どうか絶えることのない憐れみをもって主の教会を守ってください。人間ははかないものであり、あなたに頼らなければ倒れてしまうほかありません。み助けによって、害のあるすべてのものからわたしたちを守り、益となるものを与えて常に救いの道に導いてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

はこぶね
日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ: 03-3710-6031

号外 161

発行日
2023年
8月20日

夏休みも終わりに近づいてきました。今年はひときわ暑く、室内で過ごすことも多かったかもしれません。来年はみんなでキャンプにもいかれるとよいですね。この秋はバザーができるかな?どうぞお楽しみに!



今週の聖書 マタイによる福音書 15:21-28

21 イエスはそこをたち、ティルスとシドンの地方に退かれた。22 すると、この地方に生まれたカナンの女が出て来て、「主よ、ダビデの子よ、私を憐れんでください。娘が悪霊にひどく苦しめられています」と叫んだ。23 しかし、イエスは何もお答えにならなかった。そこで弟子たちが近寄って来て願った。「この女を追い払ってください。叫びながら付いて来ます。」24 イエスは、「私は、イスラエルの家の失

われた羊のところにはか遣わされていない」とお答えになった。25 しかし、女は来て、イエスの前にひれ伏し、「主よ、私をお助けください」と言った。26 イエスが、「子どもたちのパンを取って、小犬たちに投げてやるのはよくない」とお答えになると、27 女は言った。「主よ、ごもつともです。でも、小犬も主人の食卓から落ちるパン屑はいただきます。」28 そこで、イエスはお答えになった。「女よ、あなたの信仰は立派だ。あなたの願いどおりになるように。」その時、娘の病気は癒やされた。

聖書からのメッセージ

『一番良いこと』 主教 高橋 宏幸

イエス様は、病気で苦しんでいる娘がいるカナンで生まれた女の人に言われます。「子供たちのパンを取って小犬にやっではいけない」と。

冷たいイエス様という感じがしますが、決してそうではありません。この人はイエス様に腹を立てず、差別されたとお怒りでもいません。そうではなく、謙った心をもって「主よ、ごもつともです。しかし、小犬も主人の食卓から落ちるパン屑はいただくのです」と答え、イエス様が助けくださることを信じていました。

この人は「私はイエス様に良くしてもらって当たり前」とは思わず、イエス様は必ず一番良いことをしてくださると信じていました。